

A PROJECT IN 2016
SHOP
**出店
応援**
プロジェクト




Standard (空間プロデュース) × Door (ライフスタイルセレクトショップ) × CityLife (地域情報紙)

地域で愛され続けるお店を一緒に創りませんか？

【例えば】カフェを開業したいけど・・・物件はどうさがす？内装は？家具は？宣伝は？
このプロジェクトではオーナー様がお店のマネジメントに専念できるように、物件選びや施工の相談、インテリアのアドバイス、販促のお手伝いなどの業務をサポートします。まずはお気軽に無料相談にお越しください。

株式会社シティライフNEW
「出店応援プロジェクト」係
TEL/06-6338-0640 FAX/06-6368-3505
MAIL/info@citylife-new.com

詳しくはWEBページへ
出店応援 Search
http://standard-coltd.com/sp/

グルメの街で見つけた絶品メニュー

Go round the good gourmet

阪神間のおすすめグルメ

開店11周年を記念して
一日限り飲み放題付
ビュッフェ

極上のフレンチを気軽に味わえる同店が、11周年を記念したスペシャルビュッフェが期間限定で登場。旬の素材をふんだんに使用した種類豊富でボリューム満点の料理が味わえる特別なビュッフェ。ぜひ、家族や友人と愉しんで。

★ Menu ★
●スペシャルビュッフェ 2/21(日)
ランチビュッフェ ①11時～ ②13時～
大人……3,500円 小学生……1,500円
未就学児……無料
ディナービュッフェ 18時～
大人……5,000円 小学生……2,000円
未就学児……無料
※2/21以外は通常ランチメニューにて営業中。

★特典★
「シティライフを見た」で、平日通常ランチ利用の場合、食後の**フティフル**(小菓子)サービス (2月末まで)

芦屋モノリス
芦屋市大槻町5-23
営/ランチ:11時半～15時 (L.O14時)
第二水曜定休 無料Pあり

0797-38-3355
http://restaurant.novarese.co.jp/asm/



CL Point

阪神・神戸地域で使える
ポイントアプリ

**CLポイント
をダウンロード
しよう**

無料

地域で使えるポイントアプリ「CLポイント」。ポイントは現金と同じように使うことができるので、とってもお得!カフェや美容院など様々な加盟店で利用できます。どんどん利用し、お得な買い物をお楽しみください!

※1ポイント=1円 ※CLポイントの利用は各参加店により対象商品が異なります。アプリ内の店舗情報をご確認ください。

1 無料でダウンロードできます。
CLポイントアプリはiPhoneの「App Store」や、アンドロイドの「Google play」で無料でダウンロードできます。

2 「新規登録」をタッチし、基本情報を入力!

3 ダウンロード特典
**100ポイント
プレゼント!**
※1,000名限定

4 加盟店でポイントを貯める、使う

「CLポイント」で検索してアプリをダウンロード
※CLポイントのホームページもご覧ください。

お店のスタッフに「CLポイントを利用」と伝え、精算時には、アプリを準備しよう。
「使って貯める」時は「使う」だけでポイントも貯まります!

詳しくは、<http://cl-point.com>
【問い合わせ先】E-mail clpoint@citylife-new.com FAX 06-6368-3505

ドリンク一杯百円!
誰でも利用できるカフェ

阪神武庫川線 洲先駅から徒歩1分。住宅街のビル1階に「まちcafe なごみ」はある。午前10時半、入り口のガラス戸の前に立つと、中には20名を超す中高年男女の笑顔が…(右の写真)。カウンターの「まぢcafe なごみ」は、ある。午前10時半、入り口のガラス戸の前に立つと、中には20名を超す中高年男女の笑顔が…(右の写真)。カウンターの「まぢcafe なごみ」は、ある。午前10時半、入り口のガラス戸の前に立つと、中には20名を超す中高年男女の笑顔が…(右の写真)。

「まちcafe なごみ」は西宮市の介護保険制度のモデル事業として、ドリンク一杯百円で誰でも利用できる「住民交流の場」であり、「介護予防の場」である。2013年4月、高齢者と子どもが交わる「つどい場なごみ」をオープン。2014年11月、この店を開いた。多くのつどい場が中高年ボランティアにより、月数回、数時間のみ開かれる。毎週金曜日には武庫川女子大学健康・スポーツ科学部の学生がリハビリの指導をおこなう。また、暮らしや医療、介護などの相談件数は1カ月百件超で、必要に応じて行政や各支援機関、ケアマネジャーなどの専門職につないでいる。

「将来的には最期まで生きがいを持つて暮らせる地域の居場所として、例えば利用者が子どもたちに戦争体験を話すような会も催したい。店の数も増やして、閉じこもりがちの高齢者の方々に、もっともつと出掛けてほしいですね」。高齢者の一人暮らしが社会問題になる中、20代の若者の挑戦に拍手を送りたい。

若者が拓く地域の「つどい場」の未来

2015年の介護保険法改正により、要支援1・2の介護予防サービスが段階的に介護保険から切り離され、自治体の総合事業に移行する。そこで各地に創設されているのが、いきいきサロン、認知症カフェ、つどい場などと呼ばれる、地域の高齢者の介護予防と交流の場だ。北摂・阪神間では、とりわけ西宮市の取り組みが先進的で、市内に特色ある「つどい場」が次々にオープンしている。そんな「まちcafe なごみ」を運営する田村幸大さんにかがった。

取材文/渡部せつ子

25 親の老後を考える

介護特集

Interview
特定非営利活動法人なごみ事務局長
田村 幸大 さん

■取材協力
まちcafe なごみ
西宮市東鳴尾町2-16-19-102
営/9時～17時
日祝定休
TEL.0798-20-2333
http://narunago.wix.com/machicafe

たむら ゆきひろ/1986年明石市生まれ。関西学院大学社会学部社会福祉学科卒。「幼稚園から高校卒業まで剣道漬けの毎日、大学に入ってから教育に関心を持つようになりました。子どもと高齢者が交わる場づくりが夢」。